



季刊誌「むらの声」

Vol. 46  
2025 Summer



季刊誌「むらの声」

vol.46  
2025  
Summer



2025年8月20日発行  
●発行／「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合 〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号  
静岡県経済産業部農地局農地保全課 ☎ 054-221-2714 FAX.054-221-2809



mura note file  
むらの声

●羽鮒の里(富士宮市)  
●丸子(静岡市駿河区)

知事顕彰・連合奨励賞邑紹介

キラリ☆邑びと

●千櫃の棚田(菊川市)

my viewpoint

●小瀬戸(静岡市葵区)

フォトコンテスト

イベントカレンダー



主催 静岡県

共催 静岡県土地改良事業団体連合会  
ふじのくに美しく品格のある邑づくり連合

応募方法  
1 または 2

どちらかを選択して応募※

### 1 メール

デジタルカメラ等で撮影した  
デジタルデータ (JPEG) を  
作品応募メールアドレスへ送信

### 2 instagram

「むらサポ」instagram  
アカウントをフォロー  
ハッシュタグをつけて投稿  
#しずおかむらたび●2025  
●には季節(春・夏・秋・冬)を入力

※1と2に審査基準等の違いはありません。

表彰

### 特選-1点

静岡県産農畜産物 5千円相当 ● 商品券 1万円分

### 準特選-2点

静岡県土地改良事業団体連合会長賞 1点  
ふじのくに美しく品格のある邑づくり連合会長賞 1点  
静岡県産農畜産物 3千円相当 ● 商品券 5千円分

### 入選-60点 (15点/回)

静岡県産農畜産物 3千円相当 ● QUOカード 500円分

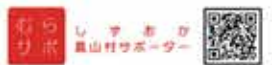
審査委員長



写真家  
沼田早苗氏

テーマは「応募期間(季節)で変化!

「むらサポ」ホームページ(HP)で発表します。→



応募期間  
2025 R7年度  
年4回開催

5.1木  
6.30月

7.1火  
9.30火

10.1水  
12.15月

12.16火  
2026 2.15日

作品応募  
問合せ先  
photocon.shizuoka@gmail.com  
054-255-5151 (平日 9:00~17:00)

〒420-8601  
静岡市葵区追手町 9-6 静岡県庁9F  
静岡県土地改良事業団体連合会

詳しくは  
「むらサポ」HPを  
ご確認ください。

むら し す お か  
サポ 農山村サポーター



Facebook  
www.facebook.com/shizuokamurasapo/  
しずおか農山村サポーター「むらサポ」



Instagram  
www.instagram.com/murasapo/

ふじのくに  
美しく品格のある邑  
Beautiful and Graceful Villages in "FUJINOKUNI"  
「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合



公式ウェブサイト  
www.fujinokuni-mura.net  
美しく品格のある邑 検索

CONTENTS

むらの声 mura note file

03 #01 羽鮒の里  
(富士宮市)

05 #02 丸子  
(静岡市駿河区)

07 知事顕彰・連合奨励賞邑紹介

09 キラリ☆邑びと  
千框の棚田  
(菊川市)

10 my viewpoint  
小瀬戸  
(静岡市葵区)

11 フォトコンテスト

13 イベントカレンダー

表紙 / 御前崎市比木

御前崎市北東部に位置する比木にて撮影された1枚。夏の夕暮れに、山の緑と満開のひまわりの黄色が映えています。比木のひまわり畑には、例年多くの人が訪れています。

第10回静岡県農村の魅力フォトコンテスト(夏)入賞作品  
「御前崎市 × ひまわり畑」  
撮影者: 手塚光次



伊豆市  
第10回静岡県農村の魅力フォトコンテスト(夏)入賞作品「水田アートその後」  
撮影者: @heqiang\_nj



ふじのくに美しく品格のある邑って?

日本一高い富士山や日本一深い駿河湾など、変化に富んだ地形と清らかな水に恵まれた静岡県は、農作物や水産物の品目数において全国トップクラス。この豊かな食材を生産する県内の農山漁村には、棚田や茶畑といった美しい風景に加えて、古くから伝わる伝統が息づく地域それぞれの「宝(資源)」があります。

「ふじのくに美しく品格のある邑」とは、地域の宝を大切に思い、それを守り、次世代につなげていこうとする人々が集まって、真摯に活動を行う理想の農山漁村として「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合が認定した地域(邑)です。平成24年度に35市町の45地域が認定されたのを皮切りに、毎年登録数が増え続け、令和7年8月現在で155の地域が名を連ねています。

「ふじのくに美しく品格のある邑」は、深い山々に囲まれた山間地の集落から、周囲が市街地化された農園まで、その個性は様々です。

周辺環境だけにとどまらず、規模の大小、文化や歴史、特産品や名物など、155の地域にはそれぞれに特徴があり、県全域で多彩で多様な魅力を形成しています。

また、そこで活躍する人々も魅力的です。自分たちの地域を愛し、活動に誇りを持つ人たちの自信に満ちた姿は、訪れる人にとって、忘れられない「美しい思い出」となるはずです。「ふじのくに美しく品格のある邑」の詳しい情報は連合のホームページにあります。魅力的な場所、地域の特産品、参加できるイベント情報なども掲載されているので、まずは気になる邑を訪ねてみましょう。



ふじのくに美しく品格のある邑ホームページ

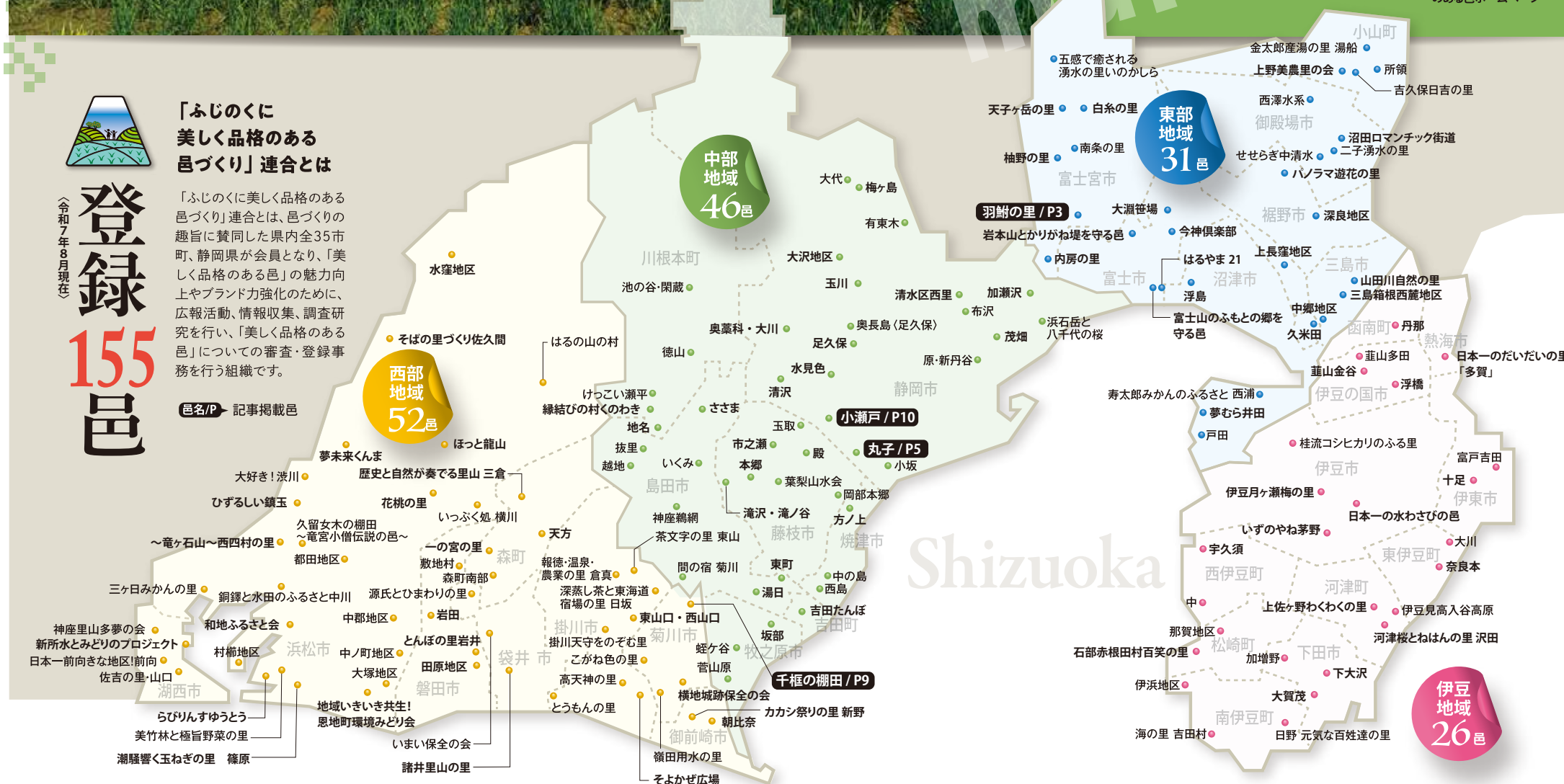


登録  
155  
邑

「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合とは

「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合とは、邑づくりの趣旨に賛同した県内全35市町、静岡県が会員となり、「美しく品格のある邑」の魅力向上やブランド力強化のために、広報活動、情報収集、調査研究を行い、「美しく品格のある邑」についての審査・登録事務を行う組織です。

邑名/P 記事掲載邑





水田の法面には彼岸花が植えられ、棚田とともに四季折々の景観が守られている。

mura note file  
むらの声 #01

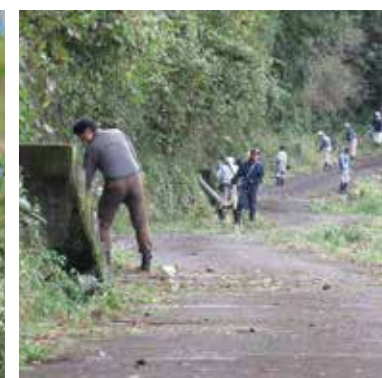


## 先代からの手掘り用水路が育む 羽鮒の棚田とそばづくり

富士山の湧水を引く用水路が山中をめぐり、里山の田んぼを潤し続ける。  
その清らかな流れのもと、米づくりに加えて始まったそば栽培が、羽鮒の未来を耕していく。



お話を伺ったみなさん。  
左から後藤良行さん、渡邊公孝さん、渡辺 常勝さん、佐野久さん。



用水路の整備や草刈りなどは、羽鮒で生きるみなさんが協力して行っている。



**羽鮒の里**  
はぶなのさと

富士宮市

- 車／新東名「新清水インター」から約 20 分
- 電車・バス／JR 身延線「芝川駅」から宮バス（芝富線・稗久保線など）に乗車、「坂本」または「香葉台」バス停下車、徒歩 5～10 分

羽鮒山のふもとに広がる「羽鮒の里」は、富士宮市の南端、旧芝川町にあたる地域に位置します。ここでは、芝川から引かれた「羽鮒用水」が、今も変わらず田畑を潤しています。

羽鮒では、平成12年から中山間地域等直接支払交付金制度を活用し、集落協定のもと農地保全に取り組んできました。その担い手が「羽鮒の里」のメンバーたちです。

代表の後藤良行さんは、「羽鮒の宝は、先代が残してくれた手彫りトンネルの用水路です」と語ります。江戸時代に掘られたというこの用水路は、幅約1.5メートル、全長およそ5キロメートル。山中を抜け、すべての圃場へと水を導きます。邑を支える渡邊公孝さんは「この用水がなければ、羽鮒の農業は成り立ちません。守り、次代へつなぐのが私たちの責任です」と言葉を添えます。

この営みは、子どもたちへも引き継がれてきました。芝富小学校の児童を招いて行う農業体験教室では、田植えや



芝富小の児童が田植えから稲刈りまで、米づくりを体験。



羽鮒の風土を生かし、そば栽培にも試行錯誤で取り組んでいる。

稲刈りをはじめ、収穫した米でおにぎりを作ったり、卒業式で赤飯をふるまったりと、20年以上にわたり交流を続けています。

しかし近年は、少子化の影響で体験の規模も縮小。長らく小学校のために使っていた園場の一部が遊休農地となったことから、新たな挑戦として始まったのが「そばづくり」でした。

3年前からは、メンバー11人で夏に種をまき、秋に収穫、

冬にはそば打ちを楽しむという循環が少しずつ定着。11月には「そば祭り」を開催しています。まだ規模は小さいものの、「参加したい」との声が地域から寄せられるようになりました。水はけの課題などもある中で、「ゆっくりでも、確実に。いずれは皆さんをご招待できるように」と後藤さんは笑顔で語ります。

手彫りの用水路が支える羽鮒の田園風景。静かな水音に包まれて、そばの花が風に揺れる季節が、またひとつ羽鮒の里を彩っています。



ことよ よしゆき  
後藤 良行さん

福岡県柳川市出身。24歳のときに静岡県富士宮市へ移住し、奥様とご縁で羽鮒に暮らし始める。定年退職後は専業農家として、お米と野菜づくりに励む。

羽鮒の“おいしい”が集まる、憩いの直売所へ  
羽鮒では、古代米の「赤米」や「黒米」、朝採れ野菜など、邑の恵みを丁寧に育てています。お米は昔ながらの天日干しにこだわり、風味豊かに仕上げているんですよ。地元農家による「野菜クラブ」がJA広場や郵便局で直売しており、毎回あつという間に完売する人気ぶり。人が集い、笑顔が交わる羽鮒の直売所へ、ぜひ足を運んでみてください！

邑びとメッセーじ

見に来て！



富士山と羽鮒を見晴らす  
羽鮒山展望台



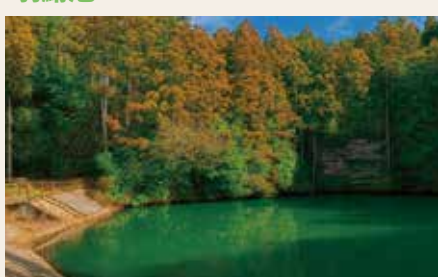
富士宮市の羽鮒山山頂近くにある展望台。標高約300mの小高い丘から、富士山の稜線と田園風景を一望できます。林道から徒歩5分ほどでアクセスでき、地元の人や写真好きに静かな人気です。

- 場所／富士宮市羽鮒
- ☎ 問い合わせ／富士宮市観光課 0544-22-1155
- 駐車場／簡易駐車スペースあり(1～2台分)

散策に来て！



源頼朝の伝説が息づく  
羽鮒池



富士宮市羽鮒の里にある静かな池。源頼朝が富士川の合戦へ向かう途中、柳の枝を簪にして使い、逆さに差した枝が根づいたという「さかさやなぎ伝説」が伝わります。のどかな田園風景に囲まれ、散策にもおすすめです。

- 場所／富士宮市羽鮒
- ☎ 問い合わせ／富士宮市観光課 0544-22-1155
- 駐車場／簡易駐車スペースあり(1～2台分)

● 丸子宿場まつり

【2月下旬開催】



江戸時代の宿場町のにぎわいを再現した、歴史と文化の祭典。とろろ汁や地場産品の屋台が並び、通りを練り歩く「姫様道中」などのパフォーマンスで丸子のまちが華やきます。地域住民が一体となり、毎年約5千人の来場者でにぎわいます。

● 場所／旧東海道 丸子宿周辺  
(静岡市葵区丸子)  
☎ 問い合わせ／090-2181-5020  
(実行委員長 鈴木 静夫)

東海道二十番宿として知られる「丸子」は、古くから旅人を迎えてきた歴史のある邑。柴屋寺や誓願寺、とろろ汁の老舗に、匠の技が光る「駿府匠宿」など、文化と暮らしが寄り添う邑として親しまれてきました。この地で「住んでよし、訪ねてよし」の邑を目指すのが、「丸子まちづくり協議会」です。

地域の課題に住民主体で向き合おうと、約80の団体が集い、2006年に発足。なかでも注力しているのが、耕作放棄地の再生、外出困難者の支援、「丸子川ふれあいロード」の整備という3つの柱です。

耕作放棄地再生では、使われなくなった茶畑を整備し、そばやジャガイモを栽培。親子での農業体験を通じて、地域の自然や食への関心を育んでいます。

「楽しんでよし、訪ねてよし」の邑を目指す。また、放任竹林を手入れして竹チップを製造。家庭の生ごみと混ぜて堆肥化するなど、循環型の取り組みも広がっています。

一方、福祉車両「チャール1号・2号」は、高齢化が進む地域において欠かせない存在。通院が困難な方を対象に無償で運行されており、「コロナ禍以降、タクシーが激減し、地域に無くてはならない事業となっています」と、理事長の近藤武さんは話します。

また、文化の継承と地域愛の醸成を目的とした「おさだの村の詩まつり」では、小中学生から短歌や川柳、四コマ漫画などを募集。入賞作品は「丸子川ふれあいロード」沿いに展示され、来訪者の心を和ませています。

「楽しんでよし、訪ねてよし」の邑を目指す。また、放任竹林を手入れして竹チップを製造。家庭の生ごみと混ぜて堆肥化するなど、循環型の取り組みも広がっています。



耕作放棄地を整備してそばを栽培。6月に種をまき、10月に収穫、12月には親子でそば打ち体験を行う。毎年約20人が参加する人気の取り組み。



「今後は、梅や野菜づくりも取り入れ、農業体験を通して関心を持つ若者を増やしたい」。若い世代を巻き込みながら、「ふれあいロード」はこれからも歩みを止めることなく続いていきます。

「今後は、梅や野菜づくりも取り入れ、農業体験を通して関心を持つ若者を増やしたい」。若い世代を巻き込みながら、「ふれあいロード」はこれからも歩みを止めることなく続いていきます。

遊びに来て！

遊びに来て！

大正ロマンの趣が残る  
明治のトンネル



明治9年に開通した全長約250mの手掘りトンネルで、国内初の民間による有料トンネルとしても知られています。丸子宿と岡部宿をつなぐ生活道路として長年親しまれ、現在も徒歩で通行可能。レンガと石積み質感が残り、明治時代にタイムスリップしたような趣を味わえます。

● 場所／静岡市駿河区宇津ノ谷  
☎ 問い合わせ／054-259-2311  
(丸子まちづくり協議会)

苔むす山門と静けさに心ほどける  
誓願寺



室町時代に創建された、東海道丸子宿ゆかりの古刹。風格ある山門や苔むした庭園が美しく、地元では「癒やしの空間」として親しまれています。江戸時代の俳人・与謝蕪村の句碑が残るほか、大坂冬の陣に関わった歴史上の人物・片桐且元が滞在したことで知られています。

● 場所／静岡市駿河区丸子5665  
☎ 問い合わせ／054-259-8611  
(誓願寺)

「丸子川ふれあいロード」で心あたたまる散策を！  
「おさだの村の詩まつり」は今年で13回目を迎えました。子どもたちが詠んだ短歌や川柳、ユーモアあふれる四コマ漫画など、約2600点の応募の中から選ばれた作品が、丸子川沿いにずらりと掲示されています。散歩しながら読むと、思わず笑ったり、ほろりとしたり。地域の温かさに触れられるこの道を、ぜひ歩いてみてください！

邑びとメッセージ

こんどうけし  
近藤 武 さん

静岡市駿河区丸子出身。「丸子まちづくり協議会」理事長。地域防災や学校教育など幅広い分野で地域活動に携わってきた。現在は「住んでよし、訪ねてよし」のまちを目指し、耕作放棄地の再生や福祉支援、文化事業など多方面でまちづくりを推進中。



通院や買い物など、外出が困難な人を支える福祉車両サービスを地域で運行。



伐採した竹を集め、1本ずつ粉砕機にかけて竹粉にし、竹チップは長田西自治会館にて販売。



丸子のマスコットキャラクター「チャールくん」は、地元ゆかりの漫画家・ごとう和先生がデザイン。福祉車両や広報誌など、地域のさまざまな場面で活躍中。



お話を聞かせてくれたのは、右から理事長の近藤武さん、福祉部会の藤原由美子さん、防災部会の片井賢一さん。



◀ 地域の問題を届ける広報誌「丸子カフェ」は年4回発行。活動の様子や出来事を継続して発信し、発行号数は50号を超える。



静岡市駿河区  
● 車／東名高速「静岡インター」から約15分  
● 電車・バス／JR静岡駅から静鉄バス 中部国道線（丸子営業所行き）「丸子営業所」バス停下車

## 連合奨励賞



### 下大沢

しもおおさわ

下田市

●車／東名高速道路沼津 IC より  
国道 414 号線を南下  
●電車・バス／伊豆急行線伊豆急  
下田駅→南伊豆東海バス大沢口行  
き→大沢口下車



### 遊び心を交えた「地域の絆」づくり

下大沢では、「山里会」が中心となり、祭りの運営やユニークな交通標識づくりなどを通して、地域の絆づくりに取り組んでいます。かつて大人中心だった祭りは、子どもも楽しめるよう創意工夫を重ねた結果、地域外に出た子や孫の世代も参加するようになり世代間交流も生まれています。「下大沢ブログ」で地域の出来事や災害情報を発信し、情報共有と活性化に貢献しています。遊び心を取り入れた特徴ある地域づくりが評価されました。



## 連合奨励賞



### 夢むら井田

ゆめむらいた

沼津市

●車／伊豆中央道 伊豆長岡 IC から  
県道沼津土肥線経由で約 35 分



### 跡継世代に贈る 自然遺産づくり

井田地区では、むらおこし実行委員会を中心に民間企業と協力して植栽活動を実施しており、令和 5 年には菜の花畑が「ぬまづの宝 100 選」に選ばれました。現在は U ターン定住や移住者の増加を図るため、井田松江古墳群周辺での植栽活動のほか、富士山や駿河湾、明神池を一望できる絶景スポットである井田花海山公園の整備を進めています。景観づくりに積極的に取り組み、企業との協働活動が継続的に行われていることが評価されました。



## 連合奨励賞



### 大沢地区

おおさわちく

静岡市葵区

●車／東名高速道路 静岡 IC より  
約 40 分  
新東名高速道路 新静岡 IC より  
約 30 分  
●電車・バス／JR 静岡駅（しず  
てつバス安倍線横沢行）「大沢入  
口」下車徒歩 20 分



### 地域活性化と都市の交流を図る「縁側カフェ」

大沢地区では、平成 25 年から地域全 23 戸の協力で、香り高い自園自製のお茶を提供する「縁側カフェ」を運営しており、利用者の利便性向上のため通販サイトや電子決済を導入し、時代に合わせたサービス改善を図っています。また、静岡農業高校の生徒の受け入れや、首都圏でのイベント出店など、地域や世代を超えた交流・取り組みが行われています。こうした地域活性化のための新たな取り組みが他の模範となるとして、評価されました。



## 知事顕彰



### 浮橋

うきはし

伊豆の国市

●車／東名高速道路 沼津 IC より  
伊豆中央道 大仁中央 IC から伊  
東方面へ約 25 分  
●電車・バス／伊豆箱根鉄道修善  
寺駅より中伊豆東海バスで約 30  
分 浮橋停車所下車



### 水と緑に囲まれた豊かな邑 ～人々の暮らしを未来につなぐ～

丘陵や山林に囲まれ、山々からの清流と豊かな湧水によって作られた美しい田園風景が広がる浮橋。まちづくり実行委員会を中心に流しそうめん等のイベントや東京都の小学校との農業体験を行うなど、地域内外との交流が盛んです。環境への意識が高く、有機農法に取組む企業や農家等、担い手も増加。地元市場での農産物販売や地産小麦を活用した商品開発が地域経済の発展に貢献しており、これら持続可能な地域づくりが評価されました。



## 知事顕彰

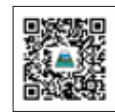


### 梅ヶ島

うめがしま

静岡市葵区

●車／新東名新静岡 IC より  
約 50 分  
●電車・バス／JR 静岡駅より、  
静鉄バス梅ヶ島温泉行き「梅ヶ島  
温泉」バス停下車



### 雄大な山々に広がる茶畑と梅並木 地域で作り守ってきた梅の里

梅ヶ島は標高 1,000m の自然豊かな地に位置し、歴史ある温泉郷や美しい景観が魅力です。梅や紅葉の植樹による景観づくり、無形民俗文化財の継承、梅まつり等のイベントによる他地域との文化交流などに地域全体で取り組んでいます。世界農業遺産の「静岡水わさび」、お茶、温泉などの地域資源を活用しており、若者や移住者による和紅茶・コーヒー生産やサウナ開設など、魅力的な地域づくりが進められていることが評価されました。



## 知事顕彰



### ～竜ヶ石山～ 西四村の里

～りゅうがしやま～にしよむらのさと

浜松市浜名区

●車／新東名高速道路  
「浜松いなさ IC」から車で  
約 10 分  
●JR 浜松駅より遠鉄バス「奥山  
高原行き」で約 50 分  
「竜ヶ岩洞入口」下車、徒歩 5 分



### 竜ヶ石山の自然とともに、いきいきとした地域づくり

竜ヶ石山周辺では、荒廃していた白檀の棚田が地域住民により復田され、国の「つなぐ棚田遺産」に認定されました。棚田からは浜松市街や遠州灘の絶景が望め、水辺ではホタルが飛び交います。企業や大学等、多様な主体との連携を積極的に進め棚田を保全。年間 20 万人以上が訪れる竜ヶ岩洞は、地域農産物販売や雇用創出などで地域経済を支えています。都市に近い立地と豊かな自然を生かした魅力的な地域づくりが評価されました。



## 外国人が見た邑のあれこれ my viewpoint

今回は静岡市にある小瀬戸という邑へ取材に行ってきました！首都圏と中京圏を結ぶ新東名高速道路の静岡 SA 建設時の調査で、この歴史深い邑には弥生時代から人が住んでいたことが判明しました。現在の住民が小瀬戸の文化と歴史を未来につなぐために頑張っている姿に、感動しました。

### 小瀬戸の石切場



駿府城公園の石垣に使われた石が、どこから来たのかを考えたことはありますか。1607 年、徳川家康の命により駿府城の大改修が行われました。1970 年、郷土史家・小野田護氏と小瀬戸の農家・戸崎富作氏によって、駿府城公園に使用された石にある大名の刻印が小瀬戸の石切場にもあることが発見されました。石切場では、痕跡が残っている岩を見学するため、地域の方々が整備している山道を約 20 分歩きました。石切場に到着し、石にある楔の穴を見た時は、まるで時代をさかのぼっているような気持ちになりました。山道を歩くだけでも大変だったため、当時の人たちはどうやって石を切って駿府城まで運んできたのか気になりました。

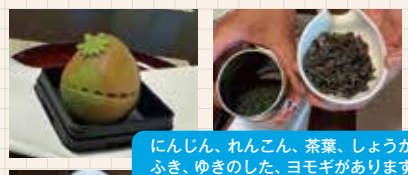


楔の穴

### 地域のごちそうを満喫

目と心を満たしたあとには、空腹を満たすごちそうが待っていました。古民家カフェ「コゼット」では、アットホームな雰囲気を感じました。小瀬戸では蕎麦の栽培をしており、店長の永野さんが旬の山菜の天ぷらと一緒に提供しています。今回は私たちが取った茶葉のほか、外国人にはあまり名前が知られていないような山菜の天ぷらを抹茶塩と一緒に堪能しました。もちろんお茶もかかせません。古民家カフェコゼットさんの「びわの葉茶」、丸高農園さんの半発酵茶とほうじ茶と 3 種類もお茶を楽しみました。香りのこだわりを感じられ、非常に美味しかったです。緑風堂さんの「石切場をモチーフにした練り切り」もいただきました。石切場の歴史を感じられますね。

うどんや蕎麦まんじゅうもあります！



にんじん、れんこん、茶葉、しょうが、ふき、ゆきのした、ヨモギがあります。

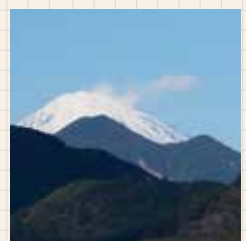


### ステンドグラスに夢中

ステンドグラス工房サンクラブツにて、キャンドルホルダー作り体験しました。最初はどのような題材をガラスで表現するか迷いましたが、講師の藤原さんの御指導のもと、様々な色や形のガラスを組み合わせていくと、イメージが湧いてきて、いつの間にか夢中になっていました。私たちは富士山をテーマに作成しましたが、同じテーマでも全く異なる作品になりました。お互いの作品をみて「こういう組み合わせもあるんだ！」と驚き、この体験の面白さを感じました。自分のアイデアをカタチにし、創造力を思いきり発揮できます。年齢を問わず、だれでも楽しめる体験です。

テーマ：富士山

### 魅力いっぱい小瀬戸



小瀬戸には安倍城の支城である小瀬戸城址や、竜爪山と重なっている富士山「重ね富士」の美しい景色も楽しめます。また小瀬戸神社で地域の信仰に触れ、クローバーフィールドで自然とつながり、地元のお祭りを通じて文化も体験することができます。

### ここに響いたこと

小瀬戸の住民から人生における新しい視点も学びました。今まで「山を使う」ことに対してネガティブな印象がありましたが、正しく使われれば人の利益だけでなく、人間、山、動物がよりよい形で共生できると知りました。また、今回の取材でお世話になった方々の中には、元々小瀬戸出身ではない方も多くいらっしゃいましたが、皆小瀬戸の未来のために頑張っています。彼らや「小瀬戸の文化と歴史を未来につなぐ会」などのようなコミュニティの存在は、まさに、小瀬戸の地域資源を守り次の世代へ受け継ぐ光です。



静岡県企画部多文化共生課国際交流員

デレヨン・ロイス (左) 【フィリピン】

岸・ミレナ けい子 (右) 【ブラジル】



## キラリ★邑びと

新たな取り組みで地域を盛り上げる邑びとを紹介します。今回は「千框の棚田」の事務局長、堀 延弘さんに話を聞きました。



昭和 40 年頃までの棚田



夕日に映える千框の棚田



千框の棚田  
事務局長 堀 延弘 さん

「先祖が泣いている。そのひと言がすべての始まり」  
上倉沢の棚田は約 400 年前に開かれ、「千框（せんがまち）」と呼ばれてきました。最盛期の 50 年前には 3000 枚を超えていた棚田も、時代とともに耕作放棄が進み、荒れてしまっています。  
「ご先祖が泣いてる。こんな姿じゃ顔向けできない」。お茶農家の集まりで、会長の山本哲さんがこぼしたその言葉が、仲間たちの心に火をつけました。  
「山本さんが言うのなら、やるしかない」。若手だった堀延弘さんも覚悟を決め、平成 6 年、有志で「千枚田を考える会」を発足。棚田再生の歩みが始まりました。  
「最初は、子どもと一緒に楽しめる場がなかったら...という想いからでした」と堀さん。活動が本格化するにつれ、ボランティアも増え、平成 22 年には NPO 法人「せんがまち棚田倶楽部」として法人化。棚田の「オーナー制度」を導入しました。  
現在は月 1 回のイベントを開催。田植えや草刈り、畦塗りなどの作業

### オーナー制と親子イベントで棚田ににぎわいを

産学官連携で『日本の桃源郷』を目指す  
もうひとつの柱が、企業や学生との連携です。「一社一村しずおか運動」に参加する企業とイベントを共催し、静岡大学棚田研究会の学生たちが運営を支えています。



発足から昨年度までに延べ 3,000 人超が棚田の保全活動に参加。

に加え、お茶染め体験や生き物教室など、親子で楽しめる企画も充実しています。  
「最初に来たときは保育園だった子が、今はもう大学生。10 年続くご縁も嬉しいですね」と笑顔を見せました。



静岡大学棚田研究会の学生たちと作る一夜限りの「あぜ道アート」。

「うちの理事長が『ここを日本の桃源郷にしたい』と口にしたんです」。その言葉をきっかけに、千框のグラウンドデザインを策定。棚田の保全に加え、景観樹木や緑肥作物による大地の再生など、「桃源郷づくり」が進行中です。  
30 年前には崩壊の危機にあった棚田も、現在は約 500 枚までに復活。一歩ずつ、確かに育っていく「千框」の風景。その歩みに、上倉沢の未来が重なって見えました。



せんがまちのたなだ  
千框の棚田

菊川市

● 車／東名高速 相良牧之原インターから約 10 分  
● 電車・バス／JR 静岡駅から静鉄バス安倍線（横沢行き）「大沢入口」下車、徒歩 20 分

みんなで描く未来の千框。目指すは日本一の桃源郷。

せんがまち





「豊作」  
(浜松市中央区篠原)  
撮影者：加茂 正喜さん  
撮影時期：令和7年2月4日



「冬の風物詩」  
(三島市三ツ谷新田)  
撮影者：勝又 守洋さん  
撮影時期：令和4年12月7日



「箱根西麓ステージ」  
(三島市 箱根西麓)  
撮影者：遠藤 寛信さん  
撮影時期：令和6年2月14日



「朝どれ野菜」  
(富士宮市北山)  
撮影者：senganmon さん  
撮影時期：令和5年2月



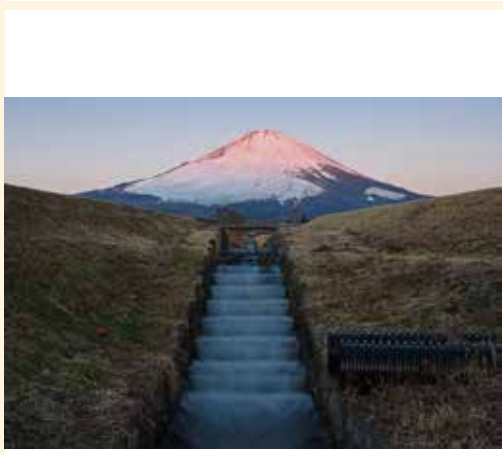
「雪積もる棚田の朝」  
(富士宮市 平成棚田)  
撮影者：uav.photo さん  
撮影時期：令和7年1月

第10回  
静岡県  
農村の魅力  
フォトコンテスト  
入賞作品発表  
#しずおかむらたび冬 2024

訪れてみたくなる、過ごしたくなる、  
農村の「食」、「文化」、「人々」の  
写真・投稿を募集しました。  
冬のテーマ  
「農村で見つけた冬のきらめき」



「近代的な段々畑とどんど焼き」  
(小山町湯船)  
撮影者：前田 修さん  
撮影時期：令和7年1月11日



「絶景用水路」  
(御殿場市山之尻)  
撮影者：今野 剛典さん  
撮影時期：令和7年1月26日



「厳冬の神事」  
(牧之原市蛭ヶ谷)  
撮影者：小沢 大介さん  
撮影時期：令和7年2月



「癒しの風景」  
(島田市抜里)  
撮影者：a.ogachaman さん  
撮影時期：令和7年1月24日



「頼もしい後継ぎ」  
(森町)  
撮影者：heqiang\_nj さん  
撮影時期：令和6年12月下旬



「みかんの収穫最盛期」  
(富士市木島)  
撮影者：pchan.icon803 さん  
撮影時期：令和6年12月

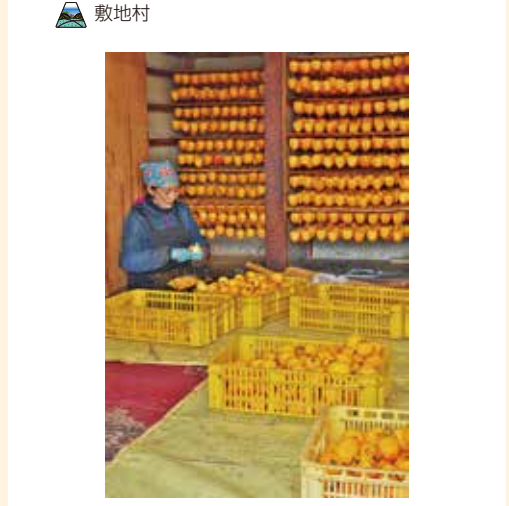
第11回静岡県農村の魅力フォトコンテスト  
#しずおかむらたび夏 2025 作品募集中！

2025年7月1日(火)から夏のフォトコンテスト開催中です！  
応募期間は9月30日(火)まで。皆様からの多数の応募をお待ちしております！

詳しくは「むらサポ」instagramアカウントをチェック！

応募期間  
7/1 Tue ~ 9/30 Tue

今回のテーマは、「農村の一瞬を、永遠に」です。



「干し柿づくり最盛期」  
(磐田市敷地)  
撮影者：小栗 進さん  
撮影時期：令和6年12月5日



「新春の日差し」  
(浜松市中央区伊左地町)  
撮影者：余吾 国雄さん  
撮影時期：令和7年1月3日



「春の訪れを告げる河津桜並木」  
(河津町)  
撮影者：ekiho3\_pc さん  
撮影時期：令和7年2月中旬



「霜降る茶畑越しの富士」  
(富士市大淵笹場)  
撮影者：otnky321 さん  
撮影時期：令和7年1月上旬



お越しいただく皆様へのお願い

開催日時や内容は、余儀なく変更・中止される場合がございますのであらかじめご了承ください。

## November 11月～

森町



天方

11月2日(日)

アクティ森ワンダフルイベント

愛犬と一緒に楽しめるイベントです。

森町体験の里 アクティ森

周智郡森町問話 1115-1

森町体験の里 アクティ森 ☎0538-85-0115

田原市



田原地区

11月中旬

大豆の収穫体験 【見学のみのみ】

田原小学校3年生が、大豆の収穫体験を行います。

磐田市三ヶ野地区 田原小学校南側

田原みどりの会 事務局 鈴木卓伯

☎0538-35-4269 (田原交流センター)

浜松市



夢未来くんま

11月23日(日)9時30分～

秋の棚田を歩こう

棚田を散策・棚田米を使って竹筒ご飯づくり・しめ縄づくり

浜松市天竜区大栗安 棚田周辺

② 駐車場無料 参加費 2,000 円

問 事務局 石打 ☎053-929-0636

三島市



山田川自然の里

11月29日(土)9時～正午

収穫祭

野菜の品評会と販売を行います。里山遊びもできます！

山田川自然の里 管理棟前広場

山田川「リーナグリス」研究会事務局

(三島市 農と食のまちづくり課内)

☎055-983-2652

## 毎月開催イベント

浜松市



恩地町環境みどり会

毎月第3日曜9時～9時30分

恩地町みどり朝市

地産地消「新鮮・安全・安～い」

出品者対面販売

恩地町公会堂広場 浜松市中央区恩地町 443

問 恩地町環境みどり会 見野 ② 駐車場有 無料

☎053-426-2888



浜松市



村櫛地区

10月中旬 8:30～10:00(予定)

アグリキッズ 農業体験 (さつまいもの収穫)

さつまいもの収穫を親子で体験

浜松市中央区村櫛町内

村櫛地区環境保全対策協議会むらちヤネット

☎053-488-0800

② 駐車場有 (無料) 日時は電話でお問合せ願います。

藤枝市



殿ふるさと会

10月中旬～11月上旬

コスモスまつり

休耕田 2.4ha にコスモス畑中心に物産販売、体験切り花 ※17、18、19日は龍勢イベントのためコスモス畑へは入ることができません。

殿地区の水田 (佐口海戸)

藤枝市岡部観光案内所 ☎054-667-6060

② 駐車場 車 1台に付き協力金 300 円

磐田市



田原地区

10月中旬

さつま芋掘り体験【見学のみのみ】

田原小学校1、2年生がさつま芋掘り体験を行います。

磐田市三ヶ野地区 田原小学校南側

田原みどりの会 事務局 鈴木卓伯

☎0538-35-4269 (田原交流センター)

掛川市



とうもんの里

10月25日(土)、26日(日)9:00～13:00

文化まつり

会員作品展・お抹茶を楽しもう・あきかぜコンサート・

もったいない市

とうもんの里総合案内所 掛川市山崎 2 3 3

問 NPO 法人とうもんの会 ☎0537-48-0045

要予約参加費あり ② 駐車場有

森町



三倉

10月25日(土)、26日(日)

許禰神社例祭

二輪屋台が勇壮なお囃子に合わせ巡行し、山合の街道が賑わいます。

森町三倉地区

森町観光協会

☎0538-85-6316

裾野市



パノラマ遊花の里

10月中下旬

(コスモスの開花時期に合わせて開催予定のため、日時未決定)

富士山すそのパノラマロード

コスモスまつり

パノラマ遊花の里では、6月中旬にコスモスを播種し、9月下旬から10月中下旬には満開となり、見頃を迎えます。見頃の時期に、当会と(一社)裾野市観光協会の共催でコスモスまつりイベントを開催します。

観光協会会員による飲食ブース、ジャンボふわふわ、お楽しみ抽選会をコスモ스에囲まれた中で実施する予定です。また、写生大会も実施し、写生したはがきは特製のポストに投函して、参加者全員のご自宅にお届けします。

裾野市須山地区

パノラマ遊花の里 (ヘルシーパークすその入口付近)

裾野市パノラマロードを花でいっぱいにする会

事務局 (裾野市農林振興課内) 担当: 山井

☎055-995-1823

参加費無料 ② 無料駐車場有

松崎町



石部赤根田村百笑の里

10月4日(土)、5日(日)

石部棚田収穫祭

石部地区の棚田で稲の収穫祭を行います。

石部の棚田

松崎町企画観光課

☎0558-42-3964

藤枝市



滝沢・滝ノ谷

10月4日(土)

秋祭り

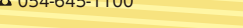
市指定文化財の神楽を奉納する。大人だけでなく小学校高学年の女の子たちも参加する。

八坂神社 藤枝市滝沢 1320

藤枝市役所 スポーツ文化観光部 文化財課

☎054-645-1100

御前崎市



カカシ祭りの里 新野

10月4日(土)13時～10月12日(日)15時

第24回新野カカシ祭り

新野川の堤防沿いに並んだカカシを見ながら歩く。

来場者の投票によって、最優秀賞、優秀賞、入賞を決定。

新野川右岸 (大橋下流) 新野地区センター西側

御前崎市新野 789-1

② 駐車場 新野公民館 (無料) 参加費無料

新野地区センター内 新野未来塾事務局

☎0537-86-2024



伊豆市



いずのやね茅野

9月20日(土)、21日(日)

稲刈り

個人・親子で稲刈り体験を行います。

はちくば会会員募集中

伊豆市茅野棚田周辺

問 はちくば会 代表 山本宗男 ☎090-2268-7989

参加費: 昼食込: 大人 1,500 円 / 小学生 1,000 円

三島市



山田川自然の里

9月27日(土)、10月4日(土) 各日9時30分～正午

棚田づくり応援隊 秋の陣

稲刈りのお手伝いと稲運びを体験できます。

山田川自然の里 棚田

山田川「リーナグリス」研究会事務局 (農と食のまちづくり課内)

☎055-983-2652

要事前申込 (三島市の広報等に申込詳細掲載)

伊豆市



伊豆月ヶ瀬梅の里

9月(予定)

お月見コンサート

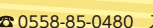
天城連山後方より昇る満月の下、和楽を楽しむ。

伊豆月ヶ瀬梅林 伊豆市月ヶ瀬 763-2

問 伊豆月ヶ瀬梅組合

☎0558-85-0480 入場料 (未定) ② 駐車場無料

富士市



はるやま 2 1

9月下旬

稲刈り体験

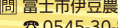
富士市立東小学校の5年生が稲刈り体験を行います。

富士市西船津南 26 番地

問 富士市伊豆農協須津営農経済センター

☎0545-30-8380

田原市



田原地区

9月下旬

稲刈り・脱穀体験【見学のみのみ】

田原小学校5年生が、稲刈り体験と脱穀体験を行います。

磐田市三ヶ野地区 田原小学校東側

田原みどりの会 事務局 鈴木卓伯

☎0538-35-4269 (田原交流センター)

## October 10月～

森町



天方

10月4日(土)～5日(日)

アクティ森ワンダフルイベント

愛犬と一緒に楽しめるイベントです。

森町体験の里 アクティ森

周智郡森町問話 1115-1

森町体験の里 アクティ森 ☎0538-85-0115

藤枝市



殿ふるさと会

8月23日(土)午後6時～

虫送り

子供達が100本の大松明に火を着け害虫を寄せ付け駆除

殿地区の水田

藤枝市岡部観光案内所

☎054-667-6060

菊川市



こがね色の里

9月7日(日)10時～

田んぼアート菊川 2025 収穫祭

老若男女問いません。田んぼアートのお米の収穫を行います。

暑いので水分を持てきましょう。

菊川市下内田 4261-1 付近

田んぼアート菊川実行委員会

☎090-7049-3108

0537-35-0936 (菊川市商工観光課)

参加費 500 円 (保険料、昼食代、お土産代)

荒天の場合中止

汚れてもいい服装で参加、参加者の住所確認あり

菊川市

田んぼアート菊川 2025 収穫祭

老若男女問いません。田んぼアートのお米の収穫を行います。

暑いので水分を持てきましょう。

菊川市下内田 4261-1 付近

田んぼアート菊川実行委員会

☎090-7049-3108

0537-35-0936 (菊川市商工観光課)

参加費 500 円 (保険料、昼食代、お土産代)

荒天の場合中止

汚れてもいい服装で参加、参加者の住所確認あり

菊川市

田んぼアート菊川 2025 収穫祭

老若男女問いません。田んぼアートのお米の収穫を行います。

暑いので水分を持てきましょう。

菊川市下内田 4261-1 付近

田んぼアート菊川実行委員会

☎090-7049-3108

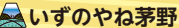
0537-35-0936 (菊川市商工観光課)

参加費 500 円 (保険料、昼食代、お土産代)

荒天の場合中止

汚れてもいい服装で参加、参加者の住所確認あり

伊豆市



いずのやね茅野

9月14日(日)、15日(祝)

稲刈り

個人・親子で稲刈り体験を行います。

はちくば会会員募集中

伊豆市茅野棚田周辺

問 はちくば会 代表 山本宗男 ☎090-2268-7989

参加費: 昼食込: 大人 1,500 円 / 小学生 1,000 円

掛川市



とうもんの里

9月20日(土)、21日(日)9:00～13:00

新米まつり

新米3種セットの販売・3種むすびセットの販売 田んぼの

生き物探検隊・新米クイズ・稲刈りなど

とうもんの里総合案内所 掛川市山崎 2 3 3

問 NPO 法人とうもんの会 ☎0537-48-0045

要予約参加費あり ② 駐車場有



あなたのご意見をお聞かせください

〒420-8601

静岡県静岡市葵区追手町9番6号

静岡県経済産業部農地局農地保全課

FAX 054-221-2809

E-mail: nouchihozen@pref.

shizuoka.lg.jp

※ご意見とともに、住所・氏名・電話番号・年

齢をご記載ください。

※頂いたご意見は次号以降に掲載されてい

たぐ場合があります。

※個人情報、連絡のため以外には使用い

たしません。

## Jul. Aug. 7.8月～

御殿場市